

7～8月の支出(図書、備品、慶弔、飲食除く)

89,791円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

印刷代(月刊武松印刷代)	15,162円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	17,520円
会場費	2,500円
通信費(携帯電話代、折込代)	54,609円
支出計 17/7/1～17/8/31	89,791円

市政を考える

月刊武松

発行日

17/9/1

たけまつ ただし

頒布責任者：武松 忠(市議会議員)

武松政策研究会

第167号

15300部発行

任意協議会が終了!?

協議結果に基づき合併を推進することが望ましい???

第9回をもって小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会が終了しました。3000を超える事務事業について、両市のサービス水準を、ある面機械的に調整した結果、増加する経費や削減できる人件費等がある程度明らかになりました。ただし、重複施設の統廃合など住民合意が必要なものについては、合併後に先送りとなっています。以下に、市議会調査特別委員会に示された小田原市としての協議結果に対する評価を示します。

■合併に関する協議結果に対する評価について

1 行革効果に関する評価

- 小田原市、南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会において合併については、両市の行財政基盤の強化に向けた抜本的な行政改革の手段となり得るかどうかとの趣旨で協議が行われた。
- 合併のみでは、人口減少、少子高齢化によるマイナス影響を長期にわたって埋めることはできないものの、年間約18億円という大きな財政改善効果が見込まれることが明らかになった。
- これは、単独の市であれば、行政サービスの縮減を含む非常に厳しい行政改革をもってしても容易には生み出し難い規模の財政効果であり、**合併はまさに「究極の行政改革」と呼ぶにふさわしい抜本的な行政改革の手段で有ることが確認できた。**
- 中長期的に避けることができないと見込まれた行政サービス水準の低下は、合併することにより当面、最小限に止めることができるようになる。
- また、公共施設配置などの面で、スケールメリットを生かしたより一層の行政改革の取組を加速することができるという点も、合併効果として期待できる。

2 市民生活の影響にかかる評価

- 協議の結果、一部に行政サービス水準が低下するものがあるが、多くの事務事業においては水

準に大きな変化はない、若しくは向上が期待される見通しとなった。

- また、合併後の市においては、単独の市であり続ける場合よりも行財政基盤の強化が図られ、財政の柔軟性が高まることにより、単独の市では継続が困難になるおそれのあったサービスを継続したり、新たな投資を構想したりすることが可能になるものと考えられる。
- 市民の関心が高いと思われる「合併方式」については、本市への編入合併となったほか、「市の名称」、「市章」、「その他慣行に関する事項」などについても、小田原市の現状が大筋で存続することとなった。

3 まちづくりへの影響にかかる評価

- 両市の総合計画を比較検証した結果、両市のまちづくりの基本的な理念は共通している部分が多く、これを融合した場合でも、これまで本市が進めてきたまちづくりの方向性と矛盾は生じないことが確認できた。
- また、両市の強みを生かしながらこれまでのまちづくりを融合して新たな価値を生み出すことも可能と考えられる。

4 合併に対する総合的な評価

- 上記1から3の評価を勘案すれば、**2市の合併は小田原市の行財政基盤の強化に資するものであり、今後、中長期的に市民サービスの維持・向上を図る上で有効な手段であると言える。**よって、小田原市としては南足柄市における評価や今後の取組の方針を踏まえることが前提となるものの、協議結果に基づいて合併を推進することが望ましいものと認識する。今後、この認識に基づき、市民に対する丁寧な説明を行い、市民の意向を把握した上で、合併の是非について判断することが妥当である。

重複施設の統廃合が出来なければデメリット！

合併により縁辺地域の衰退が加速！

シンポジウム・説明会

9月の広報小田原と一緒に、小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会の協議結果説明冊子が配布されます。その冊子を基にシンポジウム、全体説明会2回と地域別説明会6回を開催します。多くの市民の参加をお願いします。

■合併について考えるシンポジウム

小田原市と南足柄市は、平成28年10月に小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会を設置し「合併」・「中核市」・「広域連携」について検討・協議を行ってきました。その協議結果を両市の市民の皆様にお知らせし、合併について考えてもらうためのシンポジウムを開催します。

日時 9月24日(日) 14:00～16:30(13:30開場)

対象 小田原市民、南足柄市民

定員 600人(当日先着順)

場所 小田原市民会館大ホール(本町1-5-12)

内容

第1部 協議会会長による協議結果の報告

第2部 パネルディスカッション

今こそ考えよう、安心して暮らし続けられるまち
コーディネーター

牛山久仁彦(明治大学政治経済学部 教授)

パネリスト

木村秀昭(小田原市自治会総連合会長)

佐藤廣理(南足柄市前地蔵堂自治会長)

小野康夫(小田原市社会福祉協議会会長)

宗像達也(南足柄市PTA連絡協議会役員)

加藤憲一(任意協議会会長・小田原市長)

* 公共交通機関でお越しいただくか、最寄りの有料駐車場をご利用ください。

* 託児サービスを用意します。(2歳から。開催日の1週間前までに事務局へ電話でお申込みください。)

* 手話通訳と要約筆記を用意します。

■全体説明会 14:00～15:30(13:30開場)

地区	日程	会場	定員
川西	9/9(土)	市民会館小ホール	270
川東	10/8(日)	保健センター大研修室	170

* 市民会館とUMECOには駐車場はありません。公共交通機関でお越しいただくか、最寄りの有料駐車場をご利用ください。

* 全体説明会には託児サービスを用意しています。(2歳から。開催日前日までに企画政策課に事前申込)手話通訳・要約筆記も行います。

■地域別説明会 19:00～20:30(18:30開場)

地区	日程	会場	定員
川東北部	9/11(月)	梅の里センター 大会議室	120
富水桜井	9/13(水)	小田原アリーナ 研修室	80
片浦	9/15(金)	根府川公民館	30
中央	9/22(金)	市民交流センター UMECO会議室1～3	100
川東南部	9/27(水)	川東ゆめセンター マロニエ集会室202	80
橘	9/28(木)	橘ゆめセンター こゆるぎホール	80

* 地域外にお住まいの方にもご参加いただけます。

おもて面に示した通り、小田原市行政は、合併推進で前のめりに説明してくる可能性があります。

合併の是非を判断するには、夢や希望ではなく、**データと事実の積み重ね**しかありません。多くの市民の目でチェックし、将来の小田原市を考えていきましょう。

武松政策研究会からのお知らせ

9月の武松忠議会報告会について

日時 9/23(土) 18:00～

場所 おだわら市民交流センターUMECO 会議室9

テーマ 「任意協議会説明資料と市民ホールについて」

参加費 100円

終了後 懇親会を行います。

5/3北條五代祭りにて氏綱公役 →



HPは、「たけまつただし」で検索！ 月刊武松バックナンバー全て掲載しています。

twitter : @ttakemat

facebook : <https://www.facebook.com/tadashi.takematsu>

寄付は、ジャパンネットバンク 本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ

さがみ信用金庫 国府津支店 普通口座 0051228 武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松 第167号 武松政策研究会 討議資料